

殺虫剤防除例		月 旬	対象病虫害	効果のある薬剤	散布濃度	注意事項
定植前			センチュウ類	ガスタード(微粒) ネマトリンエース粒剤	20~30kg/10a 20kg/10a	鎮圧散水(ガス抜き最低2回)
			コガネムシ幼虫	ダイアジノンSLゾル ダズバン粒剤	25~50倍 9kg/10a	
4			ツツジグンバイ・アブラムシ	アクタラ顆粒水溶剤	2000倍	モスピラン顆粒水溶剤2000倍も有効
5	中		ツツジグンバイ	アドマイヤーフロアブル	2000倍	
6	中		ツツジグンバイ・ハマキ	モスピラン顆粒水溶剤	2000倍	
7	中		ベニモンアオリンガ	オルトラン液剤	250倍~500倍	グンバイにも効果有り
	上		コガネムシ幼虫	フォース粒剤	9kg/10a	
8	中		ツツジグンバイ・ハマキ	ダントツ水溶剤	2000倍	
		ハダニ	バロックフロアブル	2000倍		
9	中		ツツジグンバイ・ハマキ	スミチオン乳剤	1000倍	
		コガネムシ幼虫	ガゼット粒剤	9kg/10a		

登録殺菌例	薬剤名	効果	散布濃度	適用病害
	トップジンM水和剤	予防治療効果	1500倍	褐斑病
	ゼットボルドー	予防効果	500倍	もち病
	トリフミン水和剤	予防治療効果・浸透性	3000倍	樹木(うどんこ病)広範囲病害に効果有り
	バシタック水和剤75	病班進展阻止効果	1000倍	もち病
	マネージ乳剤	予防治療効果	1000倍	樹木(うどんこ病)
	ベルコート水和剤	予防効果	1000倍	炭疽病

## 1年生植出し

(施用量:10a当り)

施肥時期	肥料名(例)	施肥量
元肥	ハイフミン特号A 又は ハイフミンハイブリッドG	300kg 100-150kg
	溶燐 クドゲン(粒)	120kg 100kg
	ロング413(270日) 又は <b>営農経済渉外員に 配合をお問い合わせ下さい</b>	100kg
春肥	菜種粕 (ロング使用の場合は施用せず)	120kg
秋肥	クドゲン(粒)	100kg

## 2年目~3年目

(施用量:10a当り)

施肥時期	施肥例1		施肥例2	
	肥料名(例)	施肥量	肥料名(例)	施肥量
春肥	3月上旬 菜種粕 <5.3-2-1>	100kg	花木LP配合 <10-6-6>	120kg
	4月上旬 有機入化成マイルド <9-6-6>	80kg		
秋肥	5月上旬 IBジュニア <8-6-4>	120kg		
	5月中旬 クドゲン(粒)	80kg	IB化成S1号 <10-10-10> クドゲン(粒)	120kg 80kg
秋肥	9月下旬~ 10月中旬 IB化成S1号 <10-10-10>	80kg	IBジュニア <8-6-4>	80kg

○平戸・クルメツツジについては、上記施肥基準より、少なく施肥して下さい。

- 上記の病虫害防除は、基準的なものであり、年によって病虫害の発生時期が異なる場合がありますので、その時期にあった防除をおこなって下さい。
- 同一薬剤の連続散布は、病虫害の抵抗力を発達させる恐れがあり、同じ薬剤の連用は避け、ローテーション散布を心がけて下さい。
- 6月~9月の期間は、病虫害発生が著しいため、15~20日間隔の防除をおこなって下さい。

## 農薬使用留意事項

- 使用前には、ラベルをよく読んで下さい。
- 農薬は安全基準を守って使用して下さい。
- 防除時には近接作物への飛散に十分注意しましょう。
- 防除時には、必ず専用の防除衣・マスクなどを着用しましょう。
- 農薬は幼児の手の届く所には置かないで下さい。

◎JAで土壌診断を行い、施肥の合理化を図りましょう。